

日本バプテスト女性連合

第 49 回総会(書面決議)
議事録

日 時： 2021 年 12 月 20 日 (開票日)
場 所： 日本バプテスト連盟事務所 3F

第 49 回（2021 年度）女性連合総会議事録

総会議案説明会（オンライン）：2021 年 10 月 30 日（土）13：00～16：00

書面決議書受付期間：2021 年 11 月 12 日（金）～ 12 月 17 日（金）

総会日（開票日）：2021 年 12 月 20 日（月）

議長：高橋良子（筑波）、副議長：井浦緑（三鷹）

資料：『2020 年度報告書』（以下、報告書）

加盟教会・伝道所 278（2020 年度）→ 277（リビングホープ教会が札幌教会との合併により 1 減）

会員数：3674 名（2020 年度会費納入者数）

※報告書 61 頁参照

〔提案者〕

第 1 号議案 女性連合加盟に関する件

〔実行委員会〕

筑紫野二日市教会福岡南伝道所（福岡地方連合）2 名 加盟申請

【質問】なし 【意見】なし

承認

第 2 号議案 2020 年度活動報告承認（活動、会計、会計監査）に関する件

〔実行委員会〕

◇活動報告 報告書 3～35 頁、◇会計報告 報告書 36～49 頁参照

【質問】なし 【意見】なし

承認

一般会計収支報告

（収入）

女性連合の活動・運営は、会費と『世の光』誌代によってのみ賄われている。しかし、2020 年度は、連合会費の収入が、前年度より 300 人分減った。会員の高齢化とともに新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きな理由といえるだろう。ぜひとも新規会員を増やしていきたい。また年度内の会費納入をお願いしたい（「会費納入・会員数推移表」、報告書 50 頁参照）。

- ①連合会費：8,673,600円 実績 3,614名（300名減少）前年比▲719,700円
- ②総会献金：0円 書面決議総会のため
- ④小羊会キャンプ助成金：0円 オンライン開催のため 前年比▲900,000円
- ⑥当年度収入合計：9,076,567円 前年比80% 前年比▲2,258,985円

（支出）

- ⑨活動費：⑩+⑪=158,874円（⑪0円）前年比32% 前年比▲328,460円
活動費…「通常の活動費」と「50周年記念誌特別委員会の活動費」に分けた
- ⑮総会費：95,839円 前年比19% 書面総会の準備・通信費等
- ⑯小羊会キャンプ費：254,067円 予算比10% 予算比▲2,245,933円
オンライン開催のため 次年度への繰越1,107,988円（報告書●頁、欄外※1）
- ⑰事務費、⑳人件費、㉘事務所費について
一般業務と『世の光』業務において共通業務となるため、「一般会計」から全体の40%、『世の光』会計から全体の60%を、振り分けて各「共通分担金」として支出
- ⑰事務費：300,135円（事務費合計750,338円の40%）
—㉙共通事務費分担金：▲450,203円
（事務費合計750,338円の60%を『世の光』会計の分担金としてマイナス計上）
- ⑳人件費：5,019,680円（人件費合計12,549,201円の40%）
—㉚共通人件費分担金 ▲7,529,521円
（人件費合計12,549,201円の60%『世の光』会計の分担金としてマイナス計上）
- ㉘事務所費：239,789円 事務所費合計599,472円の40%
—㉛事務所費：599,472円 「連盟感謝献金60万円」連盟会館の中に女性連合の事務所があり、毎年60万円を計上。貸金庫解約の返金があった（9,240円）
—㉜共通事務所費分担金：▲359,683円
（事務所費合計599,472円の60% 『世の光』会計の分担金としてマイナス計上）
- ㉛当年度支出合計：6,753,993円 予算比68% 前年比75%
- ㉞当年度収支差額：2,322,574円（⑥－㉛）
- ㉟次年度繰越金：13,572,705円（⑧－㉛）前年比121%
- ㊱支出合計：20,326,698円（㉛＋㉟）

㊸退職積立金 ㊹国外協力積立金 ㊺事務所備品積立金は「特別会計」へ計上

(報告書 45 頁、44 頁、47 頁)

㊻一般協力費の対外協力献金先は欄外※2に記載

『世の光』会計収支報告

(収入)

購読冊数が例年以上に減ってしまった。高齢化やコロナ危機の影響と思われる。文字の大きさやレイアウトを工夫してより読みやすい冊子になるよう編集委員会で検討中。女性だけでなく教会全体の方がたに購読をお勧めしたい。教会ごとに1冊増えれば一気に300冊近くプラスとなる。

『世の光』を購読していない諸教会・伝道所には、女性連合から毎年、4月号及び10月号を贈呈している。また今年度から、女性連合ホームページに毎月、目次・今月のことば・女性連合のひろばを掲載し、広く関心を持っていただきたいと願っている。現在のところ、値上げについては検討していない。

①世の光代金：(誌代+CD代) 実績 13,287,795円 予算比 95% 前年比 95%

②誌代：13,061,249円 (3,023冊・前年度3,186冊 ▲163冊減)

③CD代：226,546円 (52枚・前年度は48枚・4枚増)

⑤当年度収入合計：13,287,795円 予算比 95% 前年比 95%

⑥前年度繰越金：2,816,516円 (前年比 +1,128,638円)

⑧収入合計：16,104,311円 (前年比 +442,845円)

(支出)

⑨印刷費：1,904,870円 (約159,000円/月 前年比103%・4,800円/年増)

⑩原稿料：1,455,368円 (約121,000円/月 前年比98%)

⑪発送費：78,576円 (予算比52%・前年比56%)

2019年度1月よりCDが全音訳になり、1月～3月は移行期間として女性連合が送料を負担したが、2020年度より利用者負担になった

⑫編集委員会費：41,645円 予算比21%

編集会議5回すべてオンライン会議で支出削減

⑬諸費：293,958円 「全音訳CD制作関係費用」合計184,731円含む

⑭消費税：347,000円 予算比99% (2019年度の売上に対する納税)

- ⑮事務費：450,203 円（「一般会計」事務費合計 750,338 円の 60%を共通分担金）
- ⑯人件費：7,529,521 円（「一般会計」人件費合計 12,549,201 円の 60%を共通分担金）
- ⑰事務所費：359,683 円（「一般会計」事務所費合計 599,472 円の 60%を共通分担金）
- ⑱当年度支出合計：12,460,824 円 予算比 91%
- ⑲当年度収支差額：826,971 円（⑤－⑱）黒字 前年比 73%
- ⑳次年度繰越金：3,643,487 円（⑧－⑱）前年比 129%
- ㉑支出合計：16,104,311 円（⑱＋⑳）前年比 103%

貸借対照表（一般・『世の光』会計）

「一般会計」と『世の光』会計の 2020 年度締め（2021 年 3 月 31 日）時点の女性連合の財政状況を表す

前年度繰越金：14,066,647 円（一般：11,250,131 円・『世の光』：2,816,516 円）

当年度収支差額：3,149,545 円（一般：2,322,574 円・『世の光』：826,971 円）

次年度繰越金：17,216,192 円（前年 14,066,647 円 前年比 122%）

預り金：「BWA 女性部世界祈祷日献金」は会計監査と実行委員会を経て、翌年度の 6 月に送金するため「預り金」となる（2021 年 6 月 14 日送金済）

世界バプテスト祈祷週間献金

（収入）

- ①世界祈祷週間献金：29,662,407 円 （目標額 4,000 万円の 74%）
（前年比 83%）（2019 年度：35,770,327 円）
- ②雑収入：2,507 円

収入合計：29,664,914 円

（支出）

- ③世界伝道：25,842,590 円（国外伝道に 24,060,304 円・国内伝道に 1,782,286 円）
連盟を通してささげる
- ⑩アジアフィールド伝道：70 万円

2019 年度、2020 年度とコロナ状況下で実施できなかった。17 年度～20 年度までの積立金 220 万円から、19 年度実施に向けて準備していた費用 100,653 円を差し引いた残り 2,099,347 円は、今後実施のためにプールしておく。

（「世界バプテスト祈祷週間貸借対照表」、報告書 41 頁参照）

- ⑪国際緊急支援：30 万円

※2 コロナ状況下、緊急支援を必要としている 3 団体（日本キリスト教矯風会
〔女性の家 HELP〕、APBF〔コロナ対策支援〕と、日本 YWCA〔熊本豪雨災
害支援〕）に各 10 万円送金

⑫推進活動費：予算 130 万円 実績 1,122,324 円

522,324 円（資料作成費・推進会議費・通信発送費）

余剰金 777,676 円から国際緊急支援 60 万円（5 団体）・

残金 177,676 円は「国外伝道」へ（※1）

⑬調査・育成費：30 万円 特別会計に繰入

支出合計：29,664,914 円

貸借対照表（世界バプテスト祈祷週間献金）

●貸借対照表にある「*未払金」27,941,937 円の内訳

世界伝道：25,842,590 円（日本バプテスト連盟へ）

次年度に延期になった「アジアフィールド伝道」のための費用：2,099,347 円

・「世界伝道」は年度末で締めて献金額が確定してからの計上となるので、当該年度は「未払金」扱いとなる

・「アジアフィールド伝道」は 2017 年度の 70 万円、2018 年度の 40 万円、2019 年度の 40 万円から 2019 年度 12 月の準備会費用 100,653 円を引いた 299,347 円と 2020 年度の 70 万円の合計 2,099,347 円。延期のため次回に繰り越されるため「未払金」扱いとなる

《報告》について

【項目 12】2020 年度国際緊急支援献金と【項目 13】推進活動費の「国際緊急支援献金」は当年度内に執行されたので《報告》となっている。なお、推進活動費に余剰が出た場合、必要があれば国際緊急支援として用いることは、2020 年度の第 48 回総会（書面総会）の第 7 号議案で承認されている。

特別会計報告

奨学金会計

（収入）

「献身者デー」献金：1,458,549 円（前年 1,381,701 円）前年比 106%

（支出）

奨学金：720,000（3名×240,000円）

収支差額（繰越積立金）：7,848,844円（前年7,130,467円）前年比110%

出版基金会計

2022年度の50周年記念誌出版に関する費用は、ここから支出。

（収入）

出版物売上：6,300円（前年39,000円）前年比16%

（支出）

出版物諸経費：89,096円　50周年記念誌出版費（執筆謝礼）

収支差額（繰越積立金）：861,126円（前年943,914円）前年比91%

調査・育成費積立金会計

（収入）

調査・育成費繰入：300,000円（世界バプテスト祈祷週間献金より繰入）

収支差額（繰越積立金）：6,223,924円（前年5,923,873円）前年比105%

事務所備品積立会計

（収入）

事務所備品積立金繰入：300,000円

（支出）

事務所備品費：171,437円　パソコン（販売管理用）・FAXコピー複合機

収支差額（繰越積立金）：499,129円（前年370,566円）前年比135%

◇会計監査報告　報告書48～49頁参照

第3号議案 2022～2023年度役員および会計監査選挙に関する件　【実行委員会】

※女性連合細則・規定　第1～3条　『女性連合ハンドブック』19～20頁参照

ただし書面総会のため、予備選挙、本選挙とも郵送にて実施する

【質問】なし　【意見】なし

承認

(予備選挙)

候補者選考委員会：2021年7月26日(月)連盟事務所とZOOMにて開催

候補者選考委員長：秋山純子(北関東・上尾)

候補者選考委員：奥村妙子(北海道・釧路)、米澤ますみ(東北・大富)、左右田淑子(北関東・大宮)、臼井愛子(東京・花小金井)、近藤江利香(神奈川県・横浜戸塚)、山田好子(西関東・三島)、加藤美代子(中部・四日市)、下川裕子(関西・大阪)、佐野静樹(中国四国・岡山)、福田令子(北九州・富野)、原田和代(福岡・福岡城西)、田中明子(西九州・相浦光)、海蔵和香(南九州・都城)

(本選挙スケジュール)

本選挙投票用紙発送(9月16日)→事務所返信〆切10月15日(金)

選挙管理委員会(開票作業)10月21日(木)連盟事務所にて

選挙管理委員長：石堂まゆみ(赤塚教会・東京)

選挙管理委員：岩崎秀子(常盤台・東京)、奥谷恭子(前橋・北関東)、
瀬戸川美奈(恵泉・東京)

■役員・会計監査投票結果(10/21)

会長(定員1名)

吉高 路(市川八幡) 117、松坂有佳子(八戸) 27、池内 真喜(久留米) 23

副会長(定員2名)

森 恭子(高崎) 91、本多 依子(函館) 54、大石和可子(福岡ベタニヤ村) 53

大竹 千賀(高松太田) 49、田坂 聖美(横浜ニューライフ) 44、

寺見まゆみ(広島) 32

書記(定員1名)

戸井田敦子(西川口) 84、金丸 陽子(仙台長命ヶ丘) 44、川内 裕子(帯広) 38

会計(定員1名)

泉 美智子(古賀) 70、廣島 規子(浦和) 59、対田 澄子(相模中央) 35

会計監査(定員2名)

友納 薫(常盤台) 75、高橋 良子(筑波) 63、松本素代美(多良見) 63

壺岐 基子(前橋) 62、瀬戸川美奈(恵泉) 37、井東 秀美(府中) 25

*吉高路氏（市川八幡）が過半数超えにより選出決定。その他の役職は後日決選投票。
*副会長候補の森恭子氏（高崎）は過半数を超えているが、2021 年度より日本バプテ
スト連盟の「監事」として連盟の活動・会計を精査する働きを担われているため、ご本
人より辞退願いが出された。選挙管理委員会は特別な事情として辞退願いを受理し、
次点を含めた3名で副会長の決選投票を行うこととした（詳細については「オンライ
ン総会議案説明・懇談会」記録の第3号議案〔8～9頁〕を参照のこと）。

■役員・会計監査投票結果（12/20）

副会長（定員2名）

本多 依子（函館）128、大竹 千賀（高松太田）121、
大石和可子（福岡ベタニヤ村）108

書記（定員1名）

戸井田敦子（西川口）122、金丸 陽子（仙台長命ヶ丘）58

会計（定員1名）

廣島 規子（浦和）91、泉 美智子（古賀）89

会計監査（定員2名）

友納 薫（常盤台）150、高橋 良子（筑波）125、松本素代美（多良見）82

<2022～2023 年度役員および会計監査>

会長：吉高 路（市川八幡）、副会長：本多 依子（函館）、大竹 千賀（高松太田）

書記：戸井田敦子（西川口）、会計：廣島 規子（浦和）

会計監査：高橋 良子（筑波）、友納 薫（常盤台）

第4号議案 幹事推薦に関する件

[実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

※女性連合規約第11条（「女性連合ハンドブック」14頁）

米本裕見子（東京北）を推薦（任期2年・4期目）

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

米本幹事は、2016年4月より女性連合幹事として務め3期6年を終える。

引き続き2022年度からの2年間の働きに推薦する。

第5号議案 2021年度会計補正予算に関する件

[実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

資料 報告書 78～80 頁 (巻末の黄色頁)

***活動については、2020年度総会で承認済**

(参考) 2021年度活動方針

主 題 : 「みことばに立つ」 副題 : 地の塩として歩むために

聖 書 : 詩編 119 : 105 讃美歌 : 新生讃美歌 130 番

活 動 (新型コロナウイルスなどの諸般の事情により中止・延期になる可能性あり)

- ・機関誌『世の光』発行
- ・6・23「沖縄(命どう宝)の日」6月23日(水)
- ・BWA(世界バプテスト連盟)女性部世界大会 7月7日(水)オンライン開催
- ・献身者デー 9月例会日
- ・BWA(世界バプテスト連盟)女性部世界祈祷日 11月1日(月)
- ・世界バプテスト祈祷週間 11月28日(日)～12月5日(日)
- ・第49回女性連合総会(書面総会)12月20日(月)

※オンライン 信徒大会 : 10月23日(土)

※オンライン 総会議案説明・懇談会 : 10月30日(土)

(詳細は、9月全国発送案内、『世の光』10月号参照)

- ・第32回全国小羊会キャンプ(オンライン)開催3月29～31日(火～木)
- 全国リーダー研修会(オンライン)2月開催(予定)
- コロナ危機のため、未だ状況が見えない中で対面開催は、行わないこととした。
- ・50周年記念誌特別委員会
- ・その他

※お詫びと訂正

報告書7頁「主要活動報告」項目④献身者デー

2021年度新規奨学生である石橋光穂さんの学年が間違っておりましたので、ここにお詫びし訂正をいたします(誤:1年 正:2年)。

【以下は、2022年度の活動へ延期となりました】

- ・第3回三バプテスト女性会研修会（場所：沖縄バプテスト連盟那覇教会）
 ※2022年2月17～18日（木・金）→2022年6月21日（火）～22日（水）へ延期
- ・第13回6・23「沖縄（命どう宝）の日」学習ツアー
 ※2022年2月15日～16日（火・水）→2022年6月23(木)～24日（金）へ延期

※2021年度 世界バプテスト祈禱週間

献金目標額 4,000万円

用途	連盟	3,620万円
	（国外伝道 3,370万円、国内伝道 250万円）	
	福島移住女性支援（EIWAN）	20万円
	会津放射能情報センター	20万円
	ライズ & シャイン（ネパール）	20万円
	プリ・キンダーガルテンスクール（インド）	20万円
	ウムチョ・ニャンザ（ルワンダ）	20万円
	イドナ村女性協同組合（イスラエル・パレスチナ）	20万円
	BWAid（世界バプテスト連盟救援委員会）	20万円
	国際緊急支援	30万円
	推進活動費	130万円
	調査・育成費	80万円

【2021年度会計補正予算補足説明】

※報告書72～74頁参照

一般会計

（収入）

- ①連合会費：予算9,600,000円（4,000名）→8,880,000円（3,700名）
 （20年度実績3,614名を鑑みて）
- ②総会献金：300,000円→0円（天城山荘での通常開催は行わず書面総会のため）
- ③特別献金：800,000円→400,000円（同上）
- ④小羊会キャンプ助成金：1,000,000円→0円（オンライン開催のためプール金で）
- ⑥当年度収入合計：11,700,000円→9,280,000円
- ⑦前年度繰越金：12,256,371円→13,572,705円
- ⑧収入合計：23,956,371円→22,852,705円

（支出）

- ⑨活動費：650,000円→300,000円（オンライン会議で旅費削減）
- ⑫会議費：1,750,000円→250,000円（オンライン会議で旅費削減）

- ⑮総会費：600,000円 → 200,000円(天城山荘での通常開催は行わず書面総会のため)
- ⑯小羊会キャンプ費：2,000,000円 → 300,000円
(オンライン開催・20年度実績から)
- ⑰事務費：400,000円 → 364,000円 (事務費合計 910,000円の40%)
- ⑱共通事務費分担金：▲546,000円
事務費合計の60%は『世の光』へ(マイナス計上)
- ⑳人件費：5,513,760円 → 5,220,000円 ・人件費合計 13,050,000円の40%
- ㉓共通人件費分担金：▲7,830,000円
・人件費合計の60%は『世の光』へ(マイナス計上)
- ㉕事務所費：280,000円 → 280,000円 ・事務所費合計 700,000円の40%
- ㉗共通事務所費分担金：▲420,000円
・事務所費合計の60%は『世の光』へ(マイナス計上)
- ㉘当年度支出合計：11,698,760円 → 7,419,000円
- ㉙当年度収支差額：1,240円 → 1,861,000円 (⑥-㉘)
- ㉚次年度繰越金：12,257,611円 → 15,433,705円 (⑧-㉘) 予算比 126%
- ㉛支出合計：23,956,371円 → 22,852,705円 (㉘+㉚)

『世の光』会計

(収入)

- ①『世の光』代金：予算 14,040,000円 → 12,744,000円
—②誌代：13,824,000円 (3,200冊/月 → 12,528,000円 (2,900冊/月))
—③CD代：216,000円 (50枚/月) → 216,000円 (50枚/月)
- ⑤当年度収入合計：14,040,000円 → 12,744,000円
- ⑥前年度繰越金：3,643,487円(前年比 +826,971円)
- ⑧収入合計：17,145,876円 → 16,387,487円

(支出)

- ⑨印刷費：2,000,000円 → 2,000,000円(約 170,000円/月) 前年実績より
- ⑩発送費：150,000円 → 100,000円(前年実績より)
- ⑪編集委員会：250,000円 → 50,000回(オンライン会議により支出削減)
- ⑫諸費：400,000円 → 350,000円(前年実績より)
- ⑬消費税：350,000円 → 370,000円(2020年度売上に対して)

- ⑮事務費：600,000円 → 546,000円 ・事務費合計 910,000円の60%
 ⑯人件費：8,270,640円 → 7,830,000円 ・人件費合計 13,050,000円の60%
 ⑰事務所費：420,000円 → 420,000円 ・事務所費合計 700,000円の60%
 ⑱当年度支出合計：14,040,640円 → 13,166,000円
 ⑲当年度収支差額：▲640円 → ▲422,000円（⑤－⑱）
 ⑳次年度繰越金：3,105,236円 → 3,221,487円（⑧－⑱）
 ㉑支出合計：17,145,876円 → 16,387,487円（⑱＋⑳）

第6号議案 2022年度活動方針・活動計画に関する件

[実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

活動方針 **主題：常に祈る** **副題：世界の平和を望みつつ**

聖書・賛美歌について

加盟女性会から出された聖書箇所の上位2案に、実行委員会で選んだ1案を加えた以下の3候補の聖句と、各々に相応しい賛美歌を下に提案します。A・B・Cから1つを選んで「書面決議書」に記入ください。最多数の聖句と賛美歌のペアに決定します。

(候補)

A：エフェソの信徒への手紙 6章 18節

「どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。」

新生讃美歌 8番「主の呼びかけに」

B：マタイによる福音書 5章 9節

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

新生讃美歌 337番「来れや キリスト信じる者たち」

C：テモテへの手紙 一 2章 1節b

「願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。」

新生讃美歌 443番「朝の祈り」

<投票結果> A : 78 票、B : 28 票、C : 64 票、白紙 : 19 票 よって A に決定。

<2022 年度主題聖句及び賛美歌>

「どのような時にも、“霊” に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。」

(エフェソの信徒への手紙 6 章 18 節)

新生讚美歌 8 番「主の呼びかけに」

活 動 (新型コロナウイルスなどの諸般の事情により中止・延期になる可能性あり)

- ・機関誌『世の光』発行
- ・沖繩 (命どう宝) の日 2022 年 6 月 23 日 (木)
*14 回「6・23『沖繩 (命どう宝) の日』学習ツアー」は、「三バプテスト女性会研修会」(6 月 21~22 日)直後の 6 月 23~24 日 (木・金)に催行予定
- ・献身者デー (9 月例会日)
- ・第 50 回 (2022 年度) 女性連合総会・信徒大会
書面総会 (決議書開票日) : 12 月 19 日 (月) (予定)
オンライン信徒大会 : 10 月 22 日 (土) (予定)
2020 年度書面総会の第 8 号議案にて 10 月 19~21 日に天城山荘で開催することが承認されたが、新型コロナウイルス感染の収束が未だ見えず、対面での総会は難しいと判断し、書面決議への変更を提案。なお女性連合 50 周年記念大会は、2023 年度の 10 月に 2 泊 3 日で開催予定 (第 9 号議案)
- ・BWA 女性部世界祈祷日 (11 月第一月曜日) 2022 年 11 月 7 日 (月)
- ・世界バプテスト祈祷週間 2022 年 11 月 27 日 (日) ~ 12 月 4 日 (日)
- ・第 33 回全国小羊会キャンプ・リーダー研修会
日程 (予定) : 2023 年 3 月 28 日 (火) ~ 3 月 30 日 (木)
場所・開催方法 : 未定
- ・50 周年記念誌特別委員会
- ・これからの女性連合検討チーム
2022 年度には女性連合発足から 50 年を迎える私たちは時代の転換点に立っている。現代の社会状況の中で、歴史を振り返りつつ、女性連合の使命、活動、会計など皆さんの意見を伺いながら検討していくチームを立ち上げたい。
- ・その他

第7号議案 2022年度会計予算に関する件

[実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

資料 報告書 76～78 頁 (巻末の黄色頁)

コロナ感染の状況を見つつ、修正が必要であれば補正予算で修正する。

一般会計

(収入)

- ①連合会費：8,880,000 円 (2021 年度補正予算と同じく 3,700 名)
- ②総会献金：0 円 (書面総会)
- ③特別献金：400,000 円
- ④小羊会キャンプ助成金：600,000 円 (日本バプテスト連盟より)
 - ・2019 年度～2021 年度はオンライン開催だったため、繰越金 807,988 円。これまでは日本バプテスト連盟からの助成金 100 万円と女性連合 100 万円合わせ 200 万円の予算で開催してきた。200 万円から繰越金 807,988 円を差し引くと 1,192,012 円。約 120 万円を連盟と女性連合で折半し、連盟からの助成金を 60 万円として計上。
- ⑥当年度収入合計：9,880,000 円
- ⑦前年度繰越金：15,433,705 円 (2021 年度補正予算④次年度繰越金より)
- ⑧収入合計：25,313,705 円

(支出)

- ⑨活動費：400,000 円
 - ⑩活動費：200,000 円
 - ⑪50 周年記念誌：200,000 円 (記念誌特別委員会、出版基金特別会計へ積立)
- ⑫会議費：1,000,000 円
 - ⑬実行委員会費：700,000 円 (オンライン併用)
 - ⑭役員会：300,000 円 (オンライン併用)
- ⑮総会費：200,000 円 (書面総会)
- ⑯小羊会キャンプ費：2,000,000 円 (連盟共催)

- ④当年度支出合計：10,049,000 円
 ④当年度収支差額：▲169,000 円 (⑥－④)
 ⑤次年度繰越金：15,264,705 円 (⑧－④)
 ⑥支出合計：25,313,705 円 (④＋⑤)

『世の光』会計

(収入)

- ①『世の光』代金：12,744,000 円
 ②誌代：12,528,000 円 (2,900 冊／月、2021 年度補正予算と同数)
 ③CD 代：216,000 円 (50 枚／月、2021 年度補正予算と同数)
 ⑤当年度収入合計：12,744,000 円
 ⑥前年度繰越金：3,221,487 円
 ⑦一般会計より繰入金：0 円
 ⑧収入合計：15,965,487 円

(支出)

- ⑮事務費:546,000 円 (事務費合計 910,000 円の 60%)
 ⑯人件費: 7,950,000 円 (人件費合計 13,250,000 円の 60%)
 ⑰事務所費: 420,000 円 (事務所費合計 700,000 円の 60%)
 ⑱当年度支出合計:13,336,000 円
 ⑲当年度収支差額:▲592,000 円 (⑮－⑱)
 ⑳次年度繰越金:2,629,487 円 (⑱－⑱)
 ㉑支出合計:15,965,487 円 (⑱＋㉑)

第 8 号議案 2022 年度世界バプテスト祈禱週間に関する件 [実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

日程：2022 年 11 月 27 日 (日) ～ 12 月 4 日 (日)

・目標額：3,500 万円

(参考：2020 年度目標額 4,000 万円、実績 29,662,407 円)

・用途：連盟

3,150 万円

(国外伝道 2,900 万円、国内伝道 250 万円)

福島移住女性支援ネットワーク (EIWAN)	20 万円
アガペホーム (カンボジア)	20 万円
プリ・キンダーガルテンスクール (インド)	20 万円
ブレス・カンボジア・ネットワーク (カンボジア)	20 万円
イドナ村女性協同組合 (イスラエル・パレスチナ)	20 万円
BWAid (世界バプテスト連盟救援委員会)	20 万円
国際緊急支援	60 万円
推進活動費	150 万円
調査・育成費	20 万円

これまでの実績の推移、とくに 2019 年度・2020 年度の実績と昨今の状況を鑑み、目標額 3,500 万円を提案する。また 2022 年度も新型コロナウイルスによって例会など活動の見通しが定かでないことを考慮した。

※「世界バプテスト祈禱週間献金推移表」(報告書 50 頁)、巻末「議案に関する資料」参照

■連盟国外伝道について (2,900 万円)

・インドネシア伝道 (野口日宇満宣教師・野口佳奈宣教師)

2014 年 9 月よりインドネシアに派遣され、第 3 期 (3 年間) 1 年目、トータル 8 年目の働きとなっている。日宇満宣教師は教授ビザ取得を祈りつつインドネシア・バプテスト神学校で神学教育の働きを担われ、またスマランにあるチャンディ教会において、礼拝奉仕など宗教指導者として可能な働きを行っておられる。礼拝は、コロナの状況を勘案しながら行われている。佳奈宣教師は女性会、地区の女性会などに関わってこられ、現在コロナの中で月 1 回オンライン女性会祈禱会の司会やコーディネートを担われている。7~8 月は、休暇で帰国された。2 回のワクチン接種を終え 9 月 1 日に再渡航される予定。両宣教師のお働きと健康を祈っていききたい。 (2021 年 8 月 27 日現在)

・カンボジア伝道 (嶋田和幸宣教師・嶋田薫宣教師)

2015 年 3 月よりカンボジアに派遣され、第 2 期 (3 年間) 3 年目、トータル 7 年目の働きとなっている。和幸師はカンボジアバプテスト連合 (CBU) オフィス教会の協力牧師として、薫師とともに働きを担っておられる。とくに日曜学校の働きを継続し、「子どもから子どもへ」という子どもたちが主体となるビジョンを持ちつつ、子どもたちの

育成や地方教会との交流などを行っておられる。現在、オフィス教会の礼拝は政府のコロナ感染対策に応じてその都度、休止と対面での再開を行ってきた。教会活動についても再開されるごとに子どもたちとのミニストリーや訪問活動を行ってこられた。今年度は定期帰国の年で7～8月に帰国されている。薫宣教師が2月に左肩を痛み、現在帰国中に治療とリハビリを行っている。両宣教師の健康、そして薫宣教師の癒しのため祈っていききたい。

(2021年8月28日帰国報告会より)

・シンガポール

2013年度よりIJCS（シンガポール国際日本語教会）との宣教協働に関する「覚書」に基づき、IJCS 牧師伊藤世里江氏がAMC（日本バプテスト連盟アジア・ミッション・コーディネーター）の働きを担ってくださってきたが、連盟第1回理事会において、2021年度末第3期（9年間）の任期満了をもってAMCの働きを終了することが承認された。これまでの働きを心より感謝する。なお22年度からもIJCSと連盟の宣教協働は形を変えて継続する予定である。コロナの感染状況については、ワクチン接種は進んでいるが未だ新規感染者が多く、礼拝はオンラインで続けられている。また嬉しい出来事として、2021年4月、IJCS 派遣宣教師として郭修岩（カクシュウガン）宣教師が、全国支援・地域協働プロジェクトで多文化共生プロジェクトを進めている東京北キリスト教会に就任された。IJCS から連盟の教会に働き人が遣わされてきたことを、神さまの大きなみ業として喜び感謝したい。今年度25周年を迎え、26年目の新たな歩みを始めたIJCSと牧師として立たれる伊藤世里江師のお働き、そしてアジアの国々を覚え、引き続き祈っていききたい。

(2021年8月28日現在)

・IMV（国際ミッション・ボランティア）

1994年にアフリカのルワンダで起こったジェノサイド（大量虐殺）から27周年を迎えた。2005年よりジェノサイドによって深い傷と痛みを負った人びとにキリストの福音による「和解と癒し」、平和構築のための大学での人材育成の働きのために、佐々木和之氏がIMVとして派遣されている。主な働きは、PIASS（Protestant Institute of Arts and Social Sciences、プロテスタント人文社会科学大学）の平和紛争研究学科長としての働きと「平和と開発センター」の調整員として協働グループ活動支援、また学生が取り組む平和構築活動への支援など多岐にわたる働きを担っておられる。新型コロナウイルス感染予防のため制限措置が強化され、夜間の営業や外出・集会の禁止など感染状況によって対策が変化する中、大学での授業は時にリモートで、時に対面で行われており、

計画通りには進まない。大学の同僚の先生がコロナに感染し召されるなど、心身共に厳しい出来事も起こっている。健康が支えられ PIASS での働きが日々導かれるよう祈っていききたい。
(2021年8月27日現在)

■連盟国内伝道について (250万円)

連盟宣教部の国内伝道の働きが豊かに導かれることを祈りたい。とくに「全国支援・地域協働プロジェクト」の働きを覚えたい。2015年度から開始された「バプテスト北九州地方連合宣教支援センター」、また2019年度より「東京北教会・多文化共生の居場所となることを目指す教会づくりプロジェクト」の取り組みを祈り支援していききたい。

■女性連合独自支援

・福島移住女性支援ネットワーク (E I WAN) 20万円

EIWAN (Empowerment of Immigrant Woman Affiliated Network) は、2011年3月11日東日本大震災以降、被災地に住む外国人移住女性たちの支援のため、外キ教(外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト者連絡協議会)の働きとして2012年に結成された。おもに日本語学習の支援(日本語サロン)、生活相談を行っており、福島の他団体との交流も大切にしながら、子どもたちの継承語教育支援、放射能被害に関する調査、保養プログラム、子どもフォーラムなどを開催してきた。コロナ下ではあるが留意しつつ、日本語サロン、生活相談、他団体との交流が進められている。移住者の人びとに寄り添い、活動を続けているこの働きを覚えていききたい。

(2021年8月現在) ※『世の光』11月号参照

・アガペホーム (カンボジア) 20万円

アガペホームは、16年前、インドのナガランド出身の2人の女性宣教師によって始められた。家庭の事情で養育が難しい子どもたちを引き取り、共に暮らしている。昨年新しく2名の子どもが加わり、現在7名となる。仕事をしながら子どもたちを支えている2人の宣教師の働きを覚えていききたい。現在、コロナ第3波を経験しており、首都プノンペンを含め、全土での都市部でロックダウン(都市封鎖)となっている。教会、娯楽施設も閉鎖され、学校はオンライン授業が行われていたが、現在は10月の新学期まで1ヵ月の休みとなっている。教育と格差の貧困の上、コロナにより今さらに多くの人びとが、厳しい生活の中に置かれている、という知らせが届いている。

(2021年9月初旬現在)

・プリ・キンダーガルテンスクール (インド) **20 万円**

2017 年より「プリ子どもの家」に代わり、新たな教育機関として「プリ・キンダーガルテンスクール」が始まり、地域の子どもたち 50 名が学んでいる。

新型コロナ感染拡大予防のための全国的なロックダウン（都市封鎖）により、何百万人もの人びとが仕事や生活の糧を奪われ、困窮状態に陥り、子どもたちや家族に大きな影響を与えている。とくに食糧不足が深刻な問題となっている。そのような中で、コロナ感染拡大の影響でこれまで完全に閉鎖されていたが、8 月よりすべてのクラスが出席人数を減らして授業が開始された。授業やおやつに加え、家庭で十分な食事がとれない子どもたちには、食料品を提供している。卒業生には新型コロナに罹患し入院されている方、また死亡された方がおられる。神さまの癒しとご遺族への深い慰めがありますよう祈りを合わせていきたい。(2021 年 8 月現在) ※『世の光』10 月号参照

・ブレス・カンボジア・ネットワーク (カンボジア) **20 万円**

2010 年、貧しい農村の開発と経済支援のために立ち上げられた NGO（非政府組織）である。小学校プロジェクト、養鶏や農業のプロジェクトなど進められてきたが、現在コロナ危機のため、中止している。また、プノンペンで学ぶ農村出身の貧しい大学生のために寮も運営しているが、コロナ危機のため大学がオンライン授業となり多くの学生が寮を去り現在は 5 名が生活している。すべてのプロジェクトが再び開始されるまで、スタッフたちの生活が支えられ、困難なこの時期を経済的にも乗り越えられるよう祈り覚えたい。(2021 年 8 月現在)

・イドナ村女性協同組合 (イスラエル・パレスチナ) **20 万円**

イドナ村は、ヨルダン川西岸地区ヘブロン郊外にある。「サラーム」(パレスチナの女性を支援する会〔広島県〕)から派遣されている現地派遣員の働きにより、1997 年に「イドナ村女性協同組合」が設立された。女性たちは、パレスチナ伝統の手刺繍の技術やマネジメントの指導をうけ、製品(ショールやバック、小物製品)を製作、販売し生活の安定と自立を目指している。専従スタッフ 4 名、刺繍、縫製担当者の約 50 名で運営している。また、イドナ村女性協同組合では、パレスチナの男性社会の中で女子青年の学びを奨学金で支える。

コロナ危機の中、商品の販売が困難となり、センターの家賃が払えなくなることが見込まれるなどで村はずれの空き家への引越しを余儀なくさせられた。そのことにより製品の作製期間・運搬などに課題も出ている。今年 5 月にパレスチナとイスラエルの武力衝突が起こったように、政治的にも経済的にも不安定な状況下で暮らす女性たちを覚え

たい。 (2021年6月現在) ※『世の光』9月号「私たちのミッション」参照

・ **BWAid (世界バプテスト連盟救援委員会) 20万円**

世界各地で起こる災害や緊急課題に対して、世界中のバプテストの祈りを携えて現地
に赴き支援活動を行っている委員会である。毎年、女性連合から BWAid に献金をささ
げることを通して、世界の緊急課題のため祈りを届けている。

・ **国際緊急支援 60万円**

女性連合から自然災害などの緊急課題に対して、直ちに祈りを届けたいとの願いから
始められ、毎年国内外で緊急支援を必要とされている場に送られている。緊急支援に残
額があった場合、翌年度の BWAid に加算してささげる。

・ **推進活動費 150万円**

資料作成費、推進活動費(沖縄6・23学習ツアー)、通信発送費(海外送金振込料含)
などに用いられる。余剰がある場合は、必要に応じて国際緊急支援として用いる。

・ **調査・育成費 20万円**

調査・育成費は、報告書46頁にあるように、積み立てをして用いる。調査について
は、これからプログラムを立てていくためのリサーチなどに必要な経費として、育成に
ついては若い世代へのサポートなどに用いる。これまでスタディツアーや ABWU (ア
ジアバプテスト女性連合) 大会参加者へのサポートなどに用いられた。

第9号議案 第51回(2023年度)総会・信徒大会に関する件 [実行委員会]

【質問】なし 【意見】なし

承認

日時：2023年10月19日(木)～21日(土) 場所：福岡開催(予定)

第10号議案 第50回(2022年度)総会議長・副議長に関する件 [実行委員会]

役員会に一任

【質問】なし 【意見】なし

承認

日本バプテスト女性連合書記 戸井田敦子